

入 札 公 告

次のとおり一般競争入札に付します。

令和5年1月27日

分任支出負担行為担当官 近畿地方整備局
近畿技術事務所長 増田 安弘

1. 一般競争に付する事項

- (1) 調達案件の名称及び数量 近畿技術事務所応急組立橋防災支援業務
数量 1式 (電子調達システム対象案件)
- (2) 調達案件の概要 本業務は、応急組立橋による的確な防災支援活動の実施を目的として、近畿技術事務所が保有する応急組立橋の点検及び、応急組立橋を用いた災害発生時の防災支援を行うものである。
- (3) 履行期間 令和5年4月1日から令和6年3月31日まで
- (4) 履行場所 大阪府枚方市山田池北町11番1号
近畿技術事務所
- (5) 入札方法
- ① 落札者の決定に当たっては、入札書に記載された金額に消費税及び地方消費税の税率を乗じて得た額を加算した金額(当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数金額を切り捨てた金額とする。)をもって落札価格とするので、入札者は消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額から当該金額に係る消費税及び地方消費税に相当する額を減じた金額を入札書に記載すること。
 - ② 電報及び郵送による入札は認めない。
 - ③ 入札執行回数は、原則として2回を限度とする。なお、当該入札回数までに落札者が決定しない場合は、予算決算及び会計令第99条の2の規定に基づく随意契約(以下「不落随契」という。)に移行する場合がある。その場合は以下のとおりとする。
 - 1) 不落随契に伴う見積依頼は、2回目の入札を行ったものに対して行うものとする。
 - 2) 見積書提出意思のある者は、見積書の提出を行うこと。
 - 3) 見積書提出意思のない者は、辞退届を必ず提出すること。
なお、紙入札方式による入札者は、開札場より退出すること。
 - 4) 何ら意思表示のない者は、見積書提出意思のない者とみなす。
- (6) 電子調達システムの利用
本案件は、入札及び競争参加資格確認申請書等(以下「申請書等」という。)の

提出を電子調達システムで行う対象案件である。なお、電子調達システムにより難しい場合は、紙入札方式参加願を提出するものとする。

2. 競争参加資格等

(1) 競争参加資格

- ① 予算決算及び会計令（以下「予決令」という。）第70条及び第71条の規定に該当しない者であること。
- ② 令和4・5・6年度国土交通省競争参加資格（全省庁統一資格）「役務の提供等」の近畿地域の競争参加資格を有する者であること。
なお、当該資格に係る申請については、「競争参加者の資格に関する公示」（令和4年3月31日付官報）の別表に記載されている申請受付窓口（近畿地方整備局総務部契約課ほか）にて随時受け付けている。
- ③ 申請書等の受領期限の日から開札の時までの期間に、近畿地方整備局長から指名停止を受けている期間がないこと。
- ④ 会社更生法に基づき更生手続開始の申し立てがなされている者又は民事再生法に基づき再生手続開始の申し立てがなされている者（「競争参加者の資格に関する公示」（令和4年3月31日付け衆議院庶務部会計課長、参議院庶務部会計課長、国立国会図書館総務部会計課長、最高裁判所事務総局経理局長、会計検査院事務総長官房会計課長、内閣府大臣官房会計課長、デジタル庁会計担当参事官、復興庁会計担当参事官、総務省大臣官房会計課長、法務省大臣官房会計課長、外務省大臣官房会計課長、財務省大臣官房会計課長、文部科学省大臣官房会計課長、厚生労働省大臣官房会計課長、農林水産省大臣官房参事官（経理）、経済産業省大臣官房会計課長、国土交通省大臣官房会計課長、環境省大臣官房会計課長、防衛省大臣官房会計課長。以下、「令和4年3月31日付け公示という。）に基づく「会社更生法及び民事再生法開始に基づく更生手続の決定等を受けた者の手続を行った者を除く。）でないこと。
- ⑤ 電子調達システムによる場合は、電子認証（ICカード）を取得していること。
- ⑥ 入札説明書及び図書等を下記3（3）の交付方法により、下記3（2）の交付期間に、電子調達システムから自ら直接ダウンロード、または分任支出負担行為担当官から直接交付を受けた入札説明書及び図書等により作成した申請書を下記3（5）の受領期限までに提出した者であること。
- ⑦ 警察当局から、暴力団員が実質的に経営を支配する者又はこれに準ずる者として、国土交通省が発注する業務等からの排除要請があり、当該状態が継続しているものでないこと。
- ⑧ 本店、支店又は営業所が近畿地方整備局管内（福井県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、三重県）にあること。
- ⑨ 平成25年度以降において、以下のいずれかの業務（以下、「同種業務」という。）の元請けとしての履行実績があることを証明したものであること。
 - 1) 応急組立橋の点検又は維持修繕工事（塗装塗替、軽微な修繕を除く）
 - 2) 応急組立橋の製作又は架設工事

3) 鋼橋（橋梁上部工）の製作又は架設工事

ただし、同種業務の応急組立橋の点検については、令和4年度完了見込みのものでもよい。

⑩ 次のいずれかの条件を満たす主任技術者を当該業務に配置すること。

1) 同種業務に関する5年以上の実務経験を有する者又はこれと同等以上の資格を有する者であること。

「これと同等以上の資格を有する者」とは、次のとおりである。

ア. 1級又は2級土木施工管理技士

イ. 技術士（総合技術監理部門：建設部門の選択科目に限る）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者

ウ. 技術士（建設部門）の資格を有し、技術士法による登録を行っている者
エ. 1級土木施工管理技士と同等以上の資格を有すると国土交通大臣が認定した者。国土交通大臣が認定した者とは、指定建設業7業種に関して、過去に特別認定講習を受け、同講習の効果評定に合格した者、もしくは国土交通大臣が定める考査に合格した者をいう。

2) 平成25年度以降に元請けとして履行した同種業務の主任技術者（管理技術者）として従事した実務経験を有する者であること。ただし、同種業務の応急組立橋の点検については、令和4年度完了見込みのものでもよい。また、上記の期間に1年以上の産前・産後・育児休業、介護休業及び傷病休業（以下、「長期休暇」という。）を取得した場合は、長期休暇期間に相当する期間を経験として期間に加えることができる。なお、長期休暇を取得した期間に相当する期間を経験として求める期間に加える場合、期間は年単位とし、1年未満は切り捨てとする。

3) 配置予定管理技術者については、直接的な雇用関係があること。

4) 在籍出向者等を配置予定管理技術者として配置する場合は、在籍出向者等の要件に適合していること。

3. 入札書の提出場所等

(1) 入札書の提出場所及び契約条項を示す場所並びに当該入札に関する問い合わせ先

〒573-0166

大阪府枚方市山田池北町11番1号

国土交通省 近畿地方整備局 近畿技術事務所 総務課 専門職

電話 072-856-1942（内線 220）

(2) 入札説明書及び図書等の交付期間

別表1のとおり。

(3) 入札説明書及び図書等の交付する場所及び方法

電子調達システムにより交付する。（質問回答等を、電子調達システムの調達資料ダウンロード機能を用いて行うため、資料のダウンロードの際に「ダウンロードした案件について訂正・取消が行われた際に更新通知メールの配信を希望する」にチェックを入れること。）

ただし、やむを得ない事由により、電子調達システムにより入手が出来ない場合は、分任支出負担行為担当官から直接交付を行うので、上記3(1)に問い合わせること。

(4) 電子調達システムの URL

<https://www.geps.go.jp/>

(5) 電子調達システム及び紙入札方式による申請書等の受領期限
別表1のとおり。

(6) 電子調達システム及び紙入札方式による入札書の受領期限
別表1のとおり。

(7) 開札の日時及び場所

日時 別表1のとおり。

場所 近畿地方整備局 近畿技術事務所 入札室

4. その他

(1) 契約手続きに使用する言語及び通貨 日本語及び日本国通貨に限る。

(2) 入札保証金及び契約保証金 免除

(3) 入札者に要求される事項

① 電子調達システムにより参加を希望する者は、所定の受領期限までに申請書等を上記3(4)に示すURLに提出しなければならない。

② 紙入札方式により参加を希望する者は、所定の受領期限までに申請書等を上記3(1)に示す場所に提出しなければならない。

なお、①、②いずれの場合も、開札日の前日までの間において、分任支出負担行為担当官から申請書等の内容に関する照会があった場合には、説明しなければならない。

(4) 入札の無効

競争に参加する資格を有しない者のした入札、入札の条件に違反した入札及び電子調達システムを利用するためのICカードを不正に使用した者の入札は無効とする。

(5) 契約書作成の要否 要

(6) 落札者の決定方法

① 予算決算及び会計令第79条の規定に基づいて作成された予定価格の制限の範囲内で最低価格をもって有効な入札を行った者を落札者とする。

ただし、落札者となるべき者の入札価格によっては、その者により当該契約の内容に適合した履行がなされないおそれがあると認められるとき、又はその者と契約を締結することが公正な取引の秩序を乱すこととなるおそれがある著しく不相当であると認められるときは、予定価格の制限の範囲内の価格をもって入札した他の者のうち最低価格をもって入札した者を落札者とすることがある。

② 落札者となるべき者の入札価格が予決令第85条に基づく調査基準価格を下回る場合は、予決令第86条の調査を行うものとする。

(7) 本業務は、令和5年4月1日から履行を開始するものとする。

本業務は、落札決定を保留としたうえで、落札予定者を決定するものであり、落札

決定及び契約締結は令和5年4月3日とする。

なお、本業務は、令和5年度予算が成立し、支出負担行為計画示達がなされることを条件とした入札であり、当該業務にかかる令和5年度支出負担行為計画示達日が令和5年4月4日以降となった場合は、落札決定及び契約締結は支出負担行為計画示達日とする。

また、暫定予算となった場合は、予算措置が全額計上されているときは全額の契約とするが、全額計上されていないときは、本予算成立までの間について、全体の契約期間に対する暫定予算の期間分のみの契約とし、本予算成立後に全額の契約とする。

(8) 手続きにおける交渉の有無 無

(9) その他 詳細は入札説明書による。

別表 1

3.(2)	入札説明書及び図書等の 交付期間	令和 5年 1月27日から 令和 5年 2月13日までの 9時00分から16時00分まで (ただし、最終日は正午まで) (土曜日、日曜日及び祝日を除く。)
3.(5)	申請書等の 受領期限	令和 5年 2月14日 正午
3.(6)	入札書の受領期限	令和 5年 3月14日 正午
3.(7)	開札の日時	令和 5年 3月15日 14時00分